

報道関係者各位
プレスリリース

2024年7月24日



特別民間法人
高圧ガス保安協会
The High Pressure Gas Safety Institute of Japan

液化水素大型貯槽、CCS パイプラインの 規格策定を開始します。

特別民間法人高圧ガス保安協会（KHK）は、水素等を安全に利活用できるようにしていくことを目的に、水素等規格委員会を設置しています。このたび、同規格委員会に、貯槽分科会とパイプライン分科会を設置しました。液化水素大型貯槽、CCS パイプラインの高圧ガス保安協会の規格（KHKS）策定を開始します。

KHK は、水素社会推進法及び CCS 事業法の下、水素等を安全に利活用できるようにしていくことを目的に、本年3月19日に水素等規格委員会を設置し、高圧ガス保安協会の規格（KHKS）を策定するための調査審議を行っています。

このたび、本年7月23日開催の第3回同規格委員会において、新たに貯槽分科会とパイプライン分科会の設置が承認されました。これにより同規格委員会は、3つの分科会を有する規格委員会となりました（別添の図を参照ください）。

貯槽分科会（主査：川畑 友弥 東京大学 教授）は、液化水素を大量に貯蔵する大型貯槽（球形貯槽、平底円筒形貯槽など）を対象とした KHKS 原案を作成する予定です。液化アンモニアを大量に貯蔵する大型貯槽を対象とした KHKS 原案の作成も視野にいています。

パイプライン分科会（主査：川畑 友弥 東京大学 教授）は、CO₂を輸送するパイプラインを対象とした KHKS 原案を作成する予定です。水素、アンモニアなどを輸送するパイプラインを対象とした KHKS 原案の作成も視野にいています。

KHK は、同規格委員会等での議論を踏まえ、水素等の安全な利活用に役立つ各種技術基準の策定を目指して前向きに検討を続けてまいります。規格委員会及びその分科会の委員名簿、資料、議事録などは、当協会のウェブサイトで公開しております。



【本件に関するお問合せ先】

特別民間法人高圧ガス保安協会 水素センター

センター所長

小山田賢治

事業推進チームリーダー 藤井 亮

電話：03-3436-6135

Mail：h2@khk.or.jp

URL：www.khk.or.jp

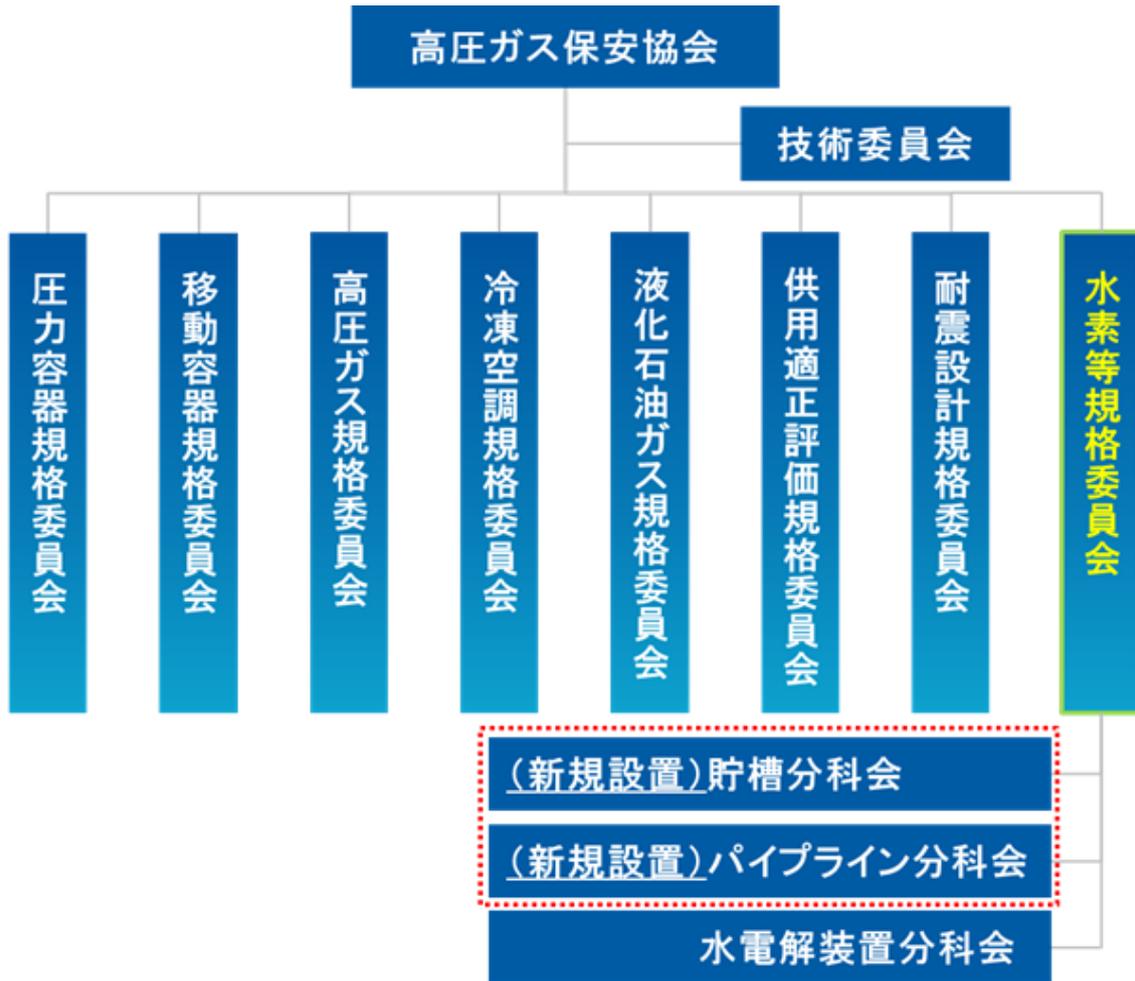


図 水素等規格委員会の組織